

第 10 回鑄造ロボットセミナー 活用事例編

主催：公益社団法人 日本鑄造工学会 鑄造設備研究部会

近年、さまざまな生産現場で DX 推進やロボットの導入および活用が進められています。また、AI とロボット技術を融合し、ロボット自らが行動判断を行うフィジカル AI が今後の成長分野として注目を集めています。ロボット技術を導入し、継続的に活用していくためには、ロボット技術を導入・運用するための知識を獲得し、最新動向を収集する人的ネットワークが必要になります。そこで、鑄造設備研究部会では鑄造ロボットセミナーを開催します。鑄造業の生産技術者がロボット技術を道具の一つとして活用できるように支援していきます。今回のセミナーはロボット活用事例を講演会形式で紹介します。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

<日 時> 2026 年 10 月 26 日（月）13:30～16:50

<開催形式> ハイブリッド形式（現地＋オンライン講演会）

<現地会場> 青山学院大学 青山キャンパス 15 号館 5 階第 13 会議室（東京都渋谷区渋谷 4-4-25）

<オンライン> ZOOM 配信（申し込み後にアクセス方法を連絡します）

<募集定員> 100 名

<参 加 費> 個人・維持会員：5,000 円、学生会員：無料

<申込方法> 鑄造設備研究部会ホームページ (<https://jfs-setsubi.org/robotseminar/>) の「第 10 回鑄造ロボットセミナー（活用事例編）2026/10/26 東京」からお申込みください。参加申し込み後に参加費支払い方法等をメールでお知らせします。

※鑄造設備研究部会の会員は参加費無料ですが、参加人数把握のため上記サイトより事前に申し込みをお願いします。

<事前申込締切> 2026 年 10 月 14 日（水）※募集定員に達し次第、締め切ります。

<スケジュール> ※進行状況によりスケジュールが変更される場合があります。

司会：伊藤 敦（東京都立産業技術高専）

13:00～13:30 受付

13:30～13:35 開会の挨拶（鑄造設備研究部会部会長 永森 久之（錦正工業株式会社））

13:35～14:15 講演①「ロボットを知り、現場で活用するまで 一工場での活用事例と YMG carrier park の役割」
（山本 祐一郎（株式会社ワイエムジー））

14:15～14:55 講演②「鑄造品トレーサビリティ強化に向けたロボット活用事例」（板橋 健太（株式会社クボタ））

14:55～15:10 休憩

15:10～15:50 講演③「動的計測に基づく技能の理解と適応型ロボットシステム」（田崎 良佑（青山学院大学））

15:50～16:30 講演④「HMD と垂直多関節ロボットをシステム統合した VR 溶接訓練シミュレータの開発」
（廣田 健人（山梨大学））

16:30～16:45 鑄造ロボットセミナー基礎編の紹介（鑄造ロボットセミナー事務局）

16:45～16:50 閉会の挨拶（鑄造設備研究部会幹事 山田 拓也（株式会社クボタ））

<問い合わせ先：鑄造ロボットセミナー事務局>

山梨大学大学院総合研究部 野田善之

E-mail: noday@yamanashi.ac.jp

Tel: 055-220-8440